

令和3年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業概要一覧

NO	申請団体名	代表者名	申請事業名	実施対象	実施期間	設定課題(地域課題)	事業内容	目標	交付額(円)
スタート事業									
1	さくら部会	代表 中川 俊和	平の沢さくらまもる会	馬路町内全住民	令和3年4月2日～ 令和4年3月31日	3年前から地元池尻区有志で立ち上げた夜桜ライトアップの取り組みにより、地域住民及び広く亀岡市民にも認知されるようになり、遊歩者や写真家等訪れる人が急増してきた。そうした中、今後益々亀岡市民に認知して頂き、継続して楽しんで頂ける桜の維持管理に努めたく思っている。従って、老木になってきている桜の剪定や新しい苗木の植樹等、長く咲いてくれるよう適切な樹木管理及び来訪者をおもてなしをする各種取り組みへの必要性が出てきた。	・老木になっている桜の剪定を行い、枯れてくる樹木のメンテを行う。 ・老木になっている桜の後継植樹をおこない、生育管理を行う。 ・平の沢全体の桜を楽しめるように山にある桜の下刈りを行う。(下刈り、フジ等のツルの除去) ・定期的な茶話会を開催して桜の四季を楽しめる語り合う場をつくり、散策する。 ・市内のイベントにも参加して維持活動のあり方を探る	①アウトプット 茶話会の開催計画、地域内散策 地域内の情報発信 平の沢公園の見所などを地域の媒体(チラシ等)に掲載 草刈作業の実施 夜桜ライトの開催 ②アウトカム 季節の見所と茶話会の案内を自治会の回覧板で案内して参加者を募る。 茶話会開催4回(参加人数合計30名) 地域内散策4回(参加人数合計25名) 地域内への情報提供 町内ボランティア登録者数3名増員 草刈作業 年5回実施 夜桜ライトの機材増設の確認と設置作業の体制づくり	120,000
2	楽しい東本梅の会	代表 日下部 健	東本梅の楽しい写真回覧板	東本梅町内全住民	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	東本梅町は高齢者が多く、家の中にこもり近所の人との会話が少ない。最近ではコロナの影響で高齢者サロン、ふれあい祭りなどが中止になり、高齢者の楽しみ事が少なくなっている。	町内で撮られた写真を毎月テーマによって選び、回覧板として町内全域に回覧する。	月1回の回覧板作成・回覧で、町内の人、特に高齢者に楽しんでもらいたい。 回覧板を町民共通の「話のタネ」として楽しい地域づくりに寄与したい。	96,000
3	くらしゴトLabo	代表 多胡 麻衣	コンポストで地域と資源の循環計画	モニタリング: 亀岡市民(主に家庭で調理を担当する人) 夏休み親子教室: 亀岡市在住小学生親子	令和3年6月1日～ 令和4年3月31日	私たちが出す「生ごみ」は年間推計で約2,842万トン、一般廃棄物の約40%を占め、そのうち30%が家庭からの排出と言われている。そのほとんどは焼却処分されるが、約80%が水分である生ごみは燃えにくく、焼却には生ごみ1トンあたり760リットルの重油が使用され、6000億円のコストがかけられており、エネルギー効率が悪く環境負荷が高い。ごみをごみとして捨てるのではなく、循環して「資源」として活かすことで環境への負荷を減らすことになる。	・夏休み親子コンポスト教室 小学生にもわかりやすいコンポストの環境講座 ・親子で工作 コンポスト講座&キエーロWS ・コンポストについての環境講座 キエーロ(生ごみ処理機)を作るワークショップ ・モニタリング調査 制作したキエーロ・LFCコンポストを使って半年間モニタリング調査及び集計	夏休み親子コンポスト教室 参加者10組 コンポスト講座&キエーロWS 参加者10人 モニタリング調査 10家庭 コンポストについての理解と、その先の循環生活や環境問題、地域づくりに興味を持ってもらう。モニタリング調査により亀岡で暮らす人が使いやすいコンポストがどのようなものか情報収集する。	160,000
ステップアップ事業									
1	重利の山を守る会	会長 長瀬 清澄	学生との協働による癒しの森づくり	曾我部町重利山ノ下近辺の山林 曾我部町地域の住民(先端科学大学の学生を含む)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	手つかずの人工林の整備を始めて7年が過ぎ倒木の危険のあるスギの伐採は進んできました。山は生きています。山の自然は人が手入れを怠ると、すぐ元の状態に戻り荒廃した山林に変化します。 伐採跡地を自然に生えてくる木を生かし広葉樹の森に誘導し、人と自然が調和する「癒しの森」づくりを進める事が必要と考えています。	①学生との協働で地域の課題に取り組む ②山の環境整備のための作業を月に1回開催 ③「重利の山を守る会」の活動内容を多くの人に理解してもらうためイベントを開催 ④9月1日の「防災の日」に夜間防災訓練を開催	①アウトプット 山の整備 年10回、参加者毎回10名 チェーンソーアート観客30名、木工教室参加者親子30組、森のコンサート観客100名 会員・学生向けのチェーンソー講習講習会 年3回、参加者毎回10名 ②アウトカム 曾我部町全域の住民の会員数を5名増やす。地域の山の防災についての実情をイベントを通じて理解してもらう工夫を構築する。	160,000
2	緑会 畑野	代表 池田 洋二	高齢者の『日常生活支援』と地域・暮らしの『困りごと』解決	亀岡市全域	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	空き地・空き家問題をはじめ、地域の中には、危険箇所が多くある。危険箇所の除去には、地域力を発掘し、自分たちで問題解決できる実力をつける必要がある。危険箇所を認識・特定し、改善する体制を整備することが課題である。 予想される災害に対応できるように、防災・減災を学習し、避難場所、避難マニュアル等の整備することが課題である。 日常の助け合いや災害時の迅速な対応のためには、一定の繋がりが必要である。 近所の『困りごとを計画的に解決』していくことや『わいわいがやがやの居場所』づくりをとおして、新たな絆づくりを行うことが課題である。	(1) 経験豊かで元気な高齢者を「地域経済・社会活動の主体」と捉え、さまざまな地域課題を解決する事業 (2) 地域の資源の価値化 (3) 地域力の発掘・育成 (4) 情報発信事業	(1) アウトプット 問題解決活動実施件数 目標月3件、年36件 事業参加者数 目標月5人、年間60人 (2) アウトカム 「困りごと解決」後に実施するアンケートによる満足度評価 目標90%以上 問題解決ワークシートの作成件数 20枚	60,000

令和3年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業概要一覧

NO	申請団体名	代表者名	申請事業名	実施対象	実施期間	設定課題(地域課題)	事業内容	目標	交付額(円)
3	広野2区環境保全会	総括 藤原 幸一	環境保全会活動と地域力向上への取り組み	畑野町全住民と別荘・土地所有者	令和3年4月28日～ 令和4年3月31日	多様な世代の住民や新しく暮らし始めた住民が混在している地域であるが、住民が互いの存在を知らない、地域行事への参加者が固定化しているなど、住民間の繋がりが希薄化している。 畑野町の分譲地は40年近く土地のみという状況が多く、その土地が山林化してきている。日常の助け合いや災害時の迅速な対応のため、住民の繋がりと暮らしやすさが必要がある。我々の地域の環境保全会を通じて住民の協力を仰ぎ、環境整備を進めて過ごしやすい地域づくりをする。	地域内の空地樹木の伐採を進め、地主等と住民が気軽に語り合う場を作る。住民同士が地域の復活・発展について語りあい地域の向上に努める。環境保全要員に多様な世代や普段外出が少ない人にも巧会員として、参加してもらえるように呼び掛ける。畑野町HPに環境保全会ページを掲載して活動内容を広く発信する。伐採材の再利用(薪割り材、シイタケ材、キャンプンググッズ)を提案して、地域の皆様向けに販売実績を作る。	環境保全会員参加者 20名増 巧環境保全要員参加人数 合計15名 畑野町全地域内への情報発信 月1回 危険箇所の整備 5件 私有地道路の確保 20件 空地利用の件数 5件 敷地内伐採依頼件数 10軒	82,000
4	Angel Smile 21	代表 服部 貴博	障がい児・者の育成に伴う健常者とのふれあいと交流の場づくり	亀岡市内全域	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	障がい児・者が地域社会に向けて自立できる様に様々なイベントや勉強会等を通して健常者とふれあいができる交流の場づくりが必要である。	体験交流イベント 農業体験交流、ピクニックなど 普及資料作成 生活ハンドブック作成 教育学習 勉強会、意見交流会	① アウトプット ・体験交流イベント 1回25人×6回 ・管内全産婦人科へのPR活動 15ヶ所 ・賛助会員への加入促進活動 5企業 ② アウトカム ・本会への新規入会者の拡大推進	156,000
5	つつじヶ丘を美しくする会	代表 広田 勇	年谷川の自然環境保護と住民交流活動事業	西つつじヶ丘・南つつじヶ丘・上矢田町・中矢田町・古世町等	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	介護、孤立、医療、防犯、交流等に課題が多い高齢者・子育て世帯の悩み等地域の課題は顕著である。顔の見える多世代間交流により地域の発展に寄与する。	年谷川遊歩道の清掃活動と花、野菜等の作付け収穫、交流会 年谷川の蛍観賞会、蛍と自然環境保護の学習会 年谷川のヨシ狩りとヨシが自然環境に及ぼす影響について学習会 年谷川自然環境保護交流イベント(よし灯り展等)	① アウトプット ・蛍観賞会 150名 ・自然環境学習会 30名×2回 ・よし灯りの制作 40名×4回 ・よし灯り展 200名 ・ヨシ狩り 30名 ・年谷川遊歩道清掃活動 20名×10回 ② アウトカム ・ボランティア活動者数 10名増員 ・蛍の会立ち上げ 1団体 ・会の認知度 西つつじヶ丘全世帯の30%(約1,700世帯)	120,000

市民連携事業

1	特定非営利活動法人プロジェクト保津川 (連携先: 亀岡市環境先進都市推進部環境政策課)	代表理事 原田 禎夫	かめおかプラスチックごみゼロ宣言～みんなで考える亀岡の未来	亀岡市民(特に小中学生とその保護者)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	使い捨てプラスチックごみ削減の取組は進められているが依然としてレジ袋以外のペットボトルなどのプラスチックごみの発生抑制の取組は課題である。	映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」の日本語吹き替え版の制作 上映イベント及びトークイベントの開催	①アウトプット ・オーディション応募50名 ・イベント参加者100名 ②アウトカム ・かめおかプラスチックごみゼロ宣言の趣旨が広く市民に浸透する ・住民による市内清掃活動が活性化する ・保津川に流入するプラスチックごみが減少する。 ・2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを実現する ・家庭レベルでのごみの分別や削減の取り組みが一層進み、亀岡版ゼロエミッション計画の達成に貢献する	160,000
---	--	---------------	-------------------------------	--------------------	------------------------	---	---	---	---------